

地域医療の現状と課題

目次

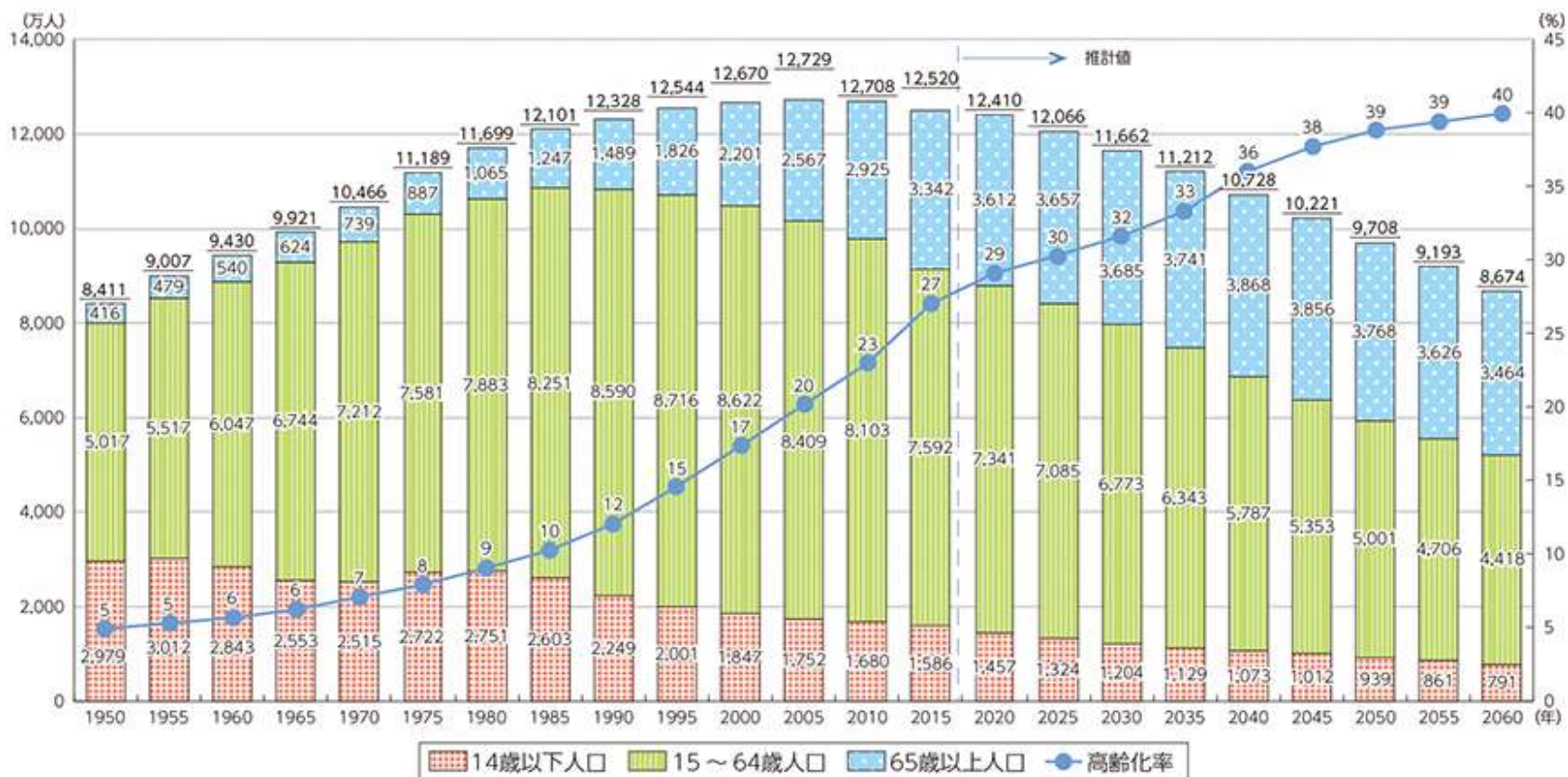
1. 日本が抱える課題と医療提供体制のあり方
2. 阪神間の医療機能強化に向けた取り組みの方向性

(注)本講演の意見に関する部分は講演者の個人的見解であることをお断わりしておきます。

日本が抱える課題と医療提供体制のあり方

今後、日本の人口構成が変化していくことによって、医療・介護も含めた社会インフラの需要も変化することが想定されます

日本の人口推計



高齢化率: 65歳以上人口 ÷ 総人口

2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を除く)、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

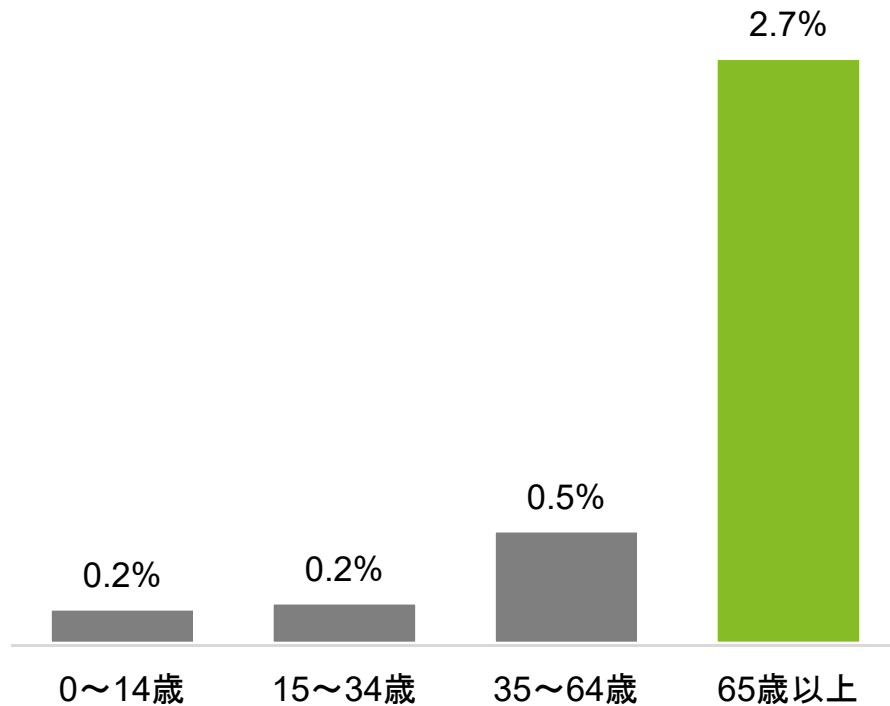


「少子化」と「高齢化」が同時に進むことから医療・介護需要と供給体制のバランスが課題となります

出所: 総務省「平成28年情報通信白書」図表1-1-1-1を抜粋

高齢化に伴う医療需要の増加に加え今後求められる医療もかわってくると想定されます

入院受療率(全国)



高齢化に伴い、将来的に患者が増加していくことが想定されます



今後求められる医療は大きく2種類あり、人口構成の変化によって求められる医療もかわってくると想定されます

- ① 急激に健康が損なわれた時に状態を回復させるための医療
- ② 日常的に複数の病気を管理し状態の維持をはかる医療

■ 入院受療率について

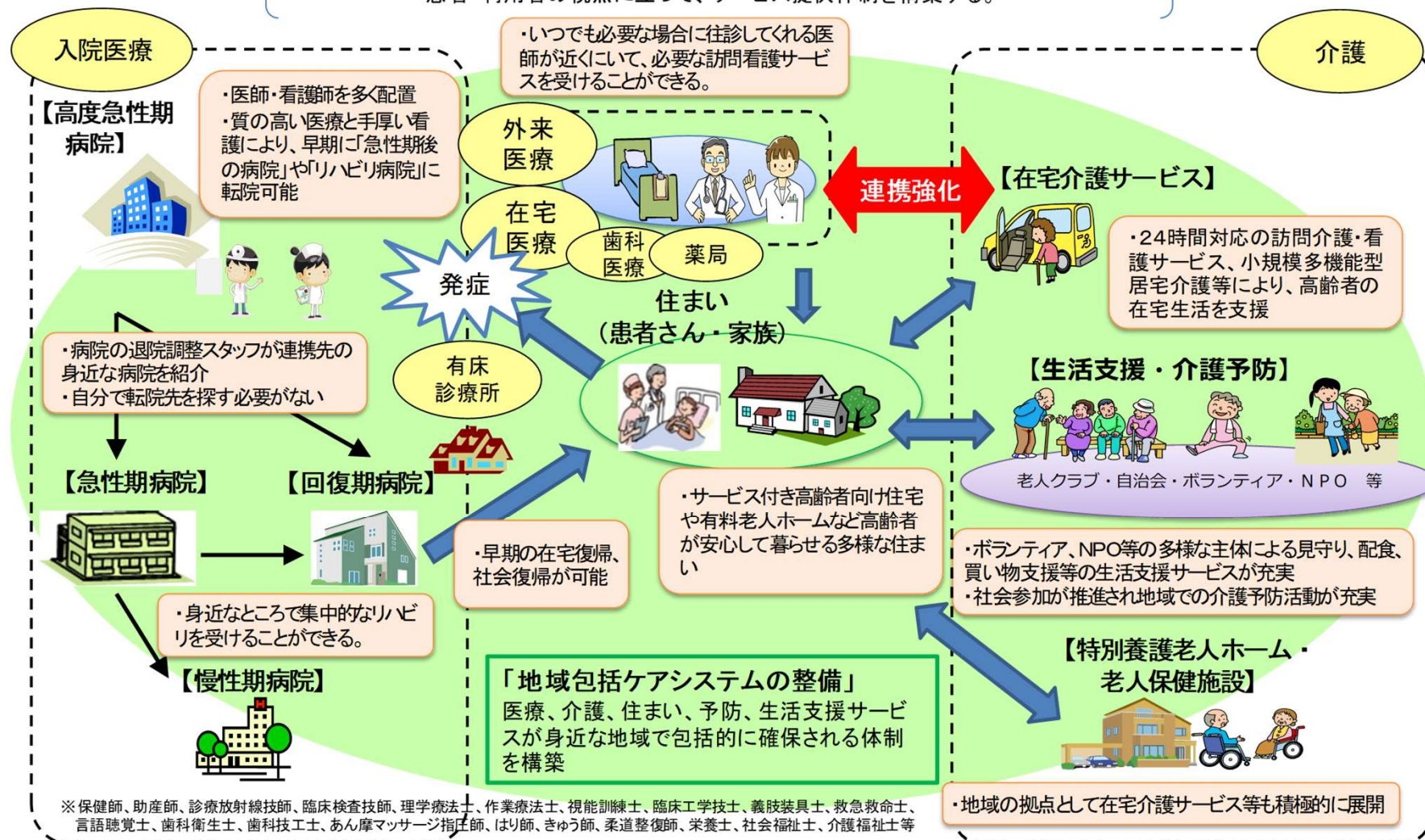
- 受療率は平成29年10月17日(火)～19日(木)の3日間のうち病院ごとに指定した1日を調査日としている
- 本来は人口10万人当たりの入院患者数であるが、パーセント表示に変更している

出所:厚生労働省「平成29年患者調査」統計表4を参考に作成

高齢者医療については地域包括ケアシステムが提示されています

医療・介護サービスの提供体制改革後の姿（サービス提供体制から）

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員その他の専門職(※)の積極的な関与のもと、患者・利用者の視点に立って、サービス提供体制を構築する。



出所：厚生労働省「介護保険制度の改正案について」3ページより抜粋

医療提供体制を考える上で、病院の入院機能は4つの機能で整理されており、それぞれで提供すべき医療の専門性は異なります



急性期

病気を発症し急激に健康が失われ不健康となった状態

高度急性期病床

救命救急病棟や集中治療室など

急性期病床

状態の早期安定化を目指す医療を提供



回復期

患者の容態が危機状態（急性期）から脱し、身体機能の回復を図る時期

回復期病床

リハビリテーションや在宅復帰に向けた医療を提供



慢性期

病気の完治には至らず、長期的に治療を続けていく必要がある状態

慢性期病床

長期にわたる療養が必要な患者が入院できる機能



それぞれの状態で必要な医療はこととなります

このため、求められる専門知識や技術、設備もこととなります

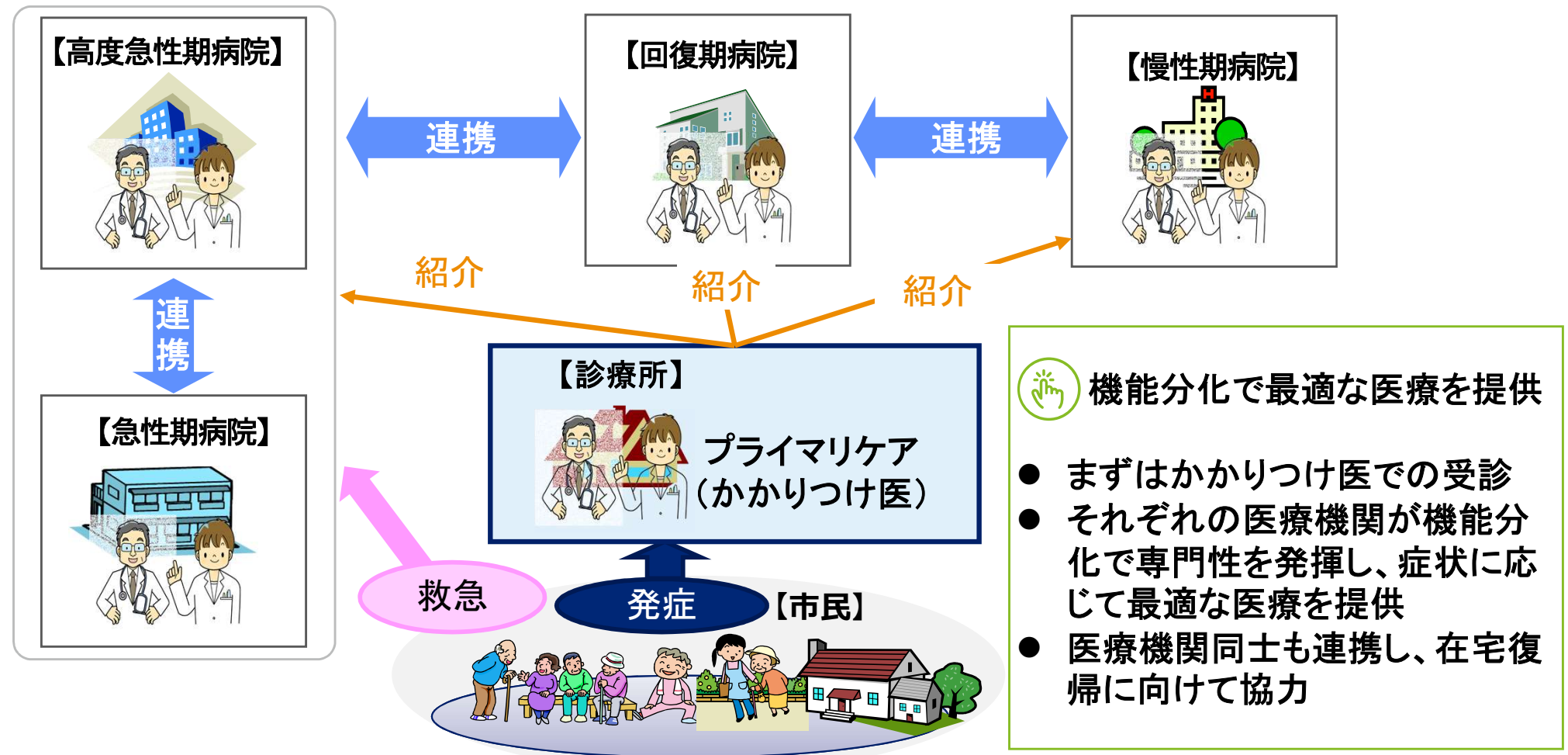
どの患者も、その状態像に即した適切な医療を適切な場所で受けられることを目指すため機能分化が求められています

かかりつけ医や病院が、お互いに専門性を発揮するとともに密な連携を行うことを通じて高い機能を発揮していくことが求められています

機能分化・強化による主な医療提供イメージ

早期安定
にむけて
治療が必要

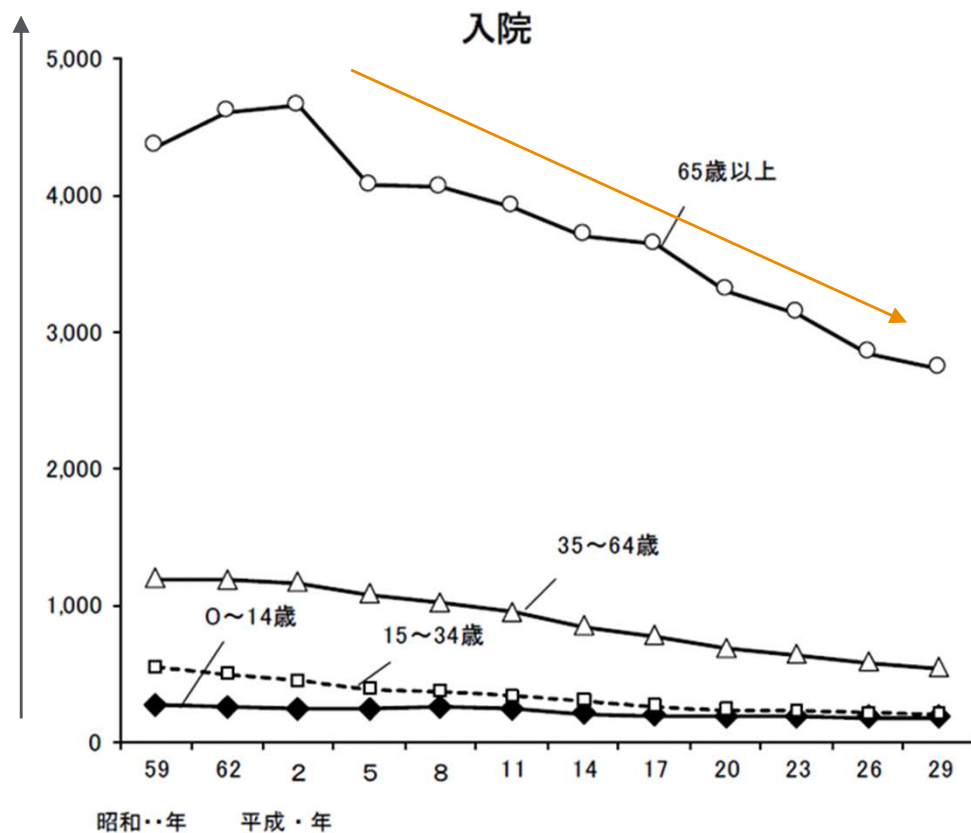
長期療養
が必要



<参考資料>

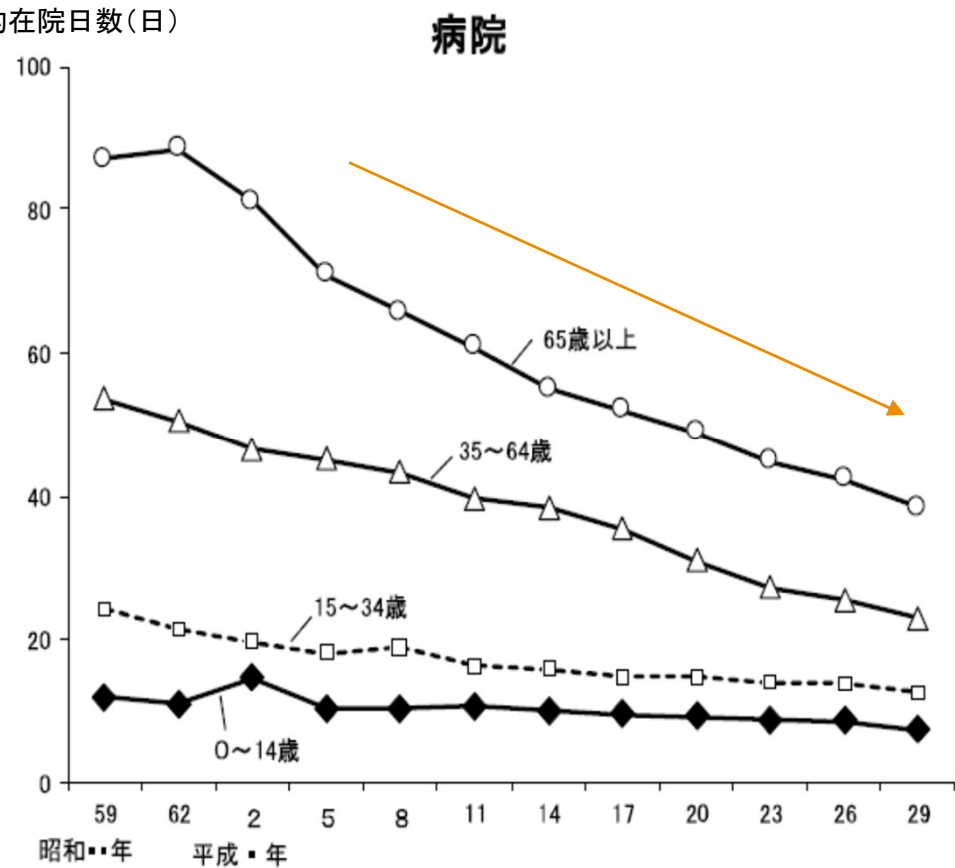
入院受療率の推移

受療率(人/人口10万人)



退院患者の平均在院日数の推移

平均在院日数(日)

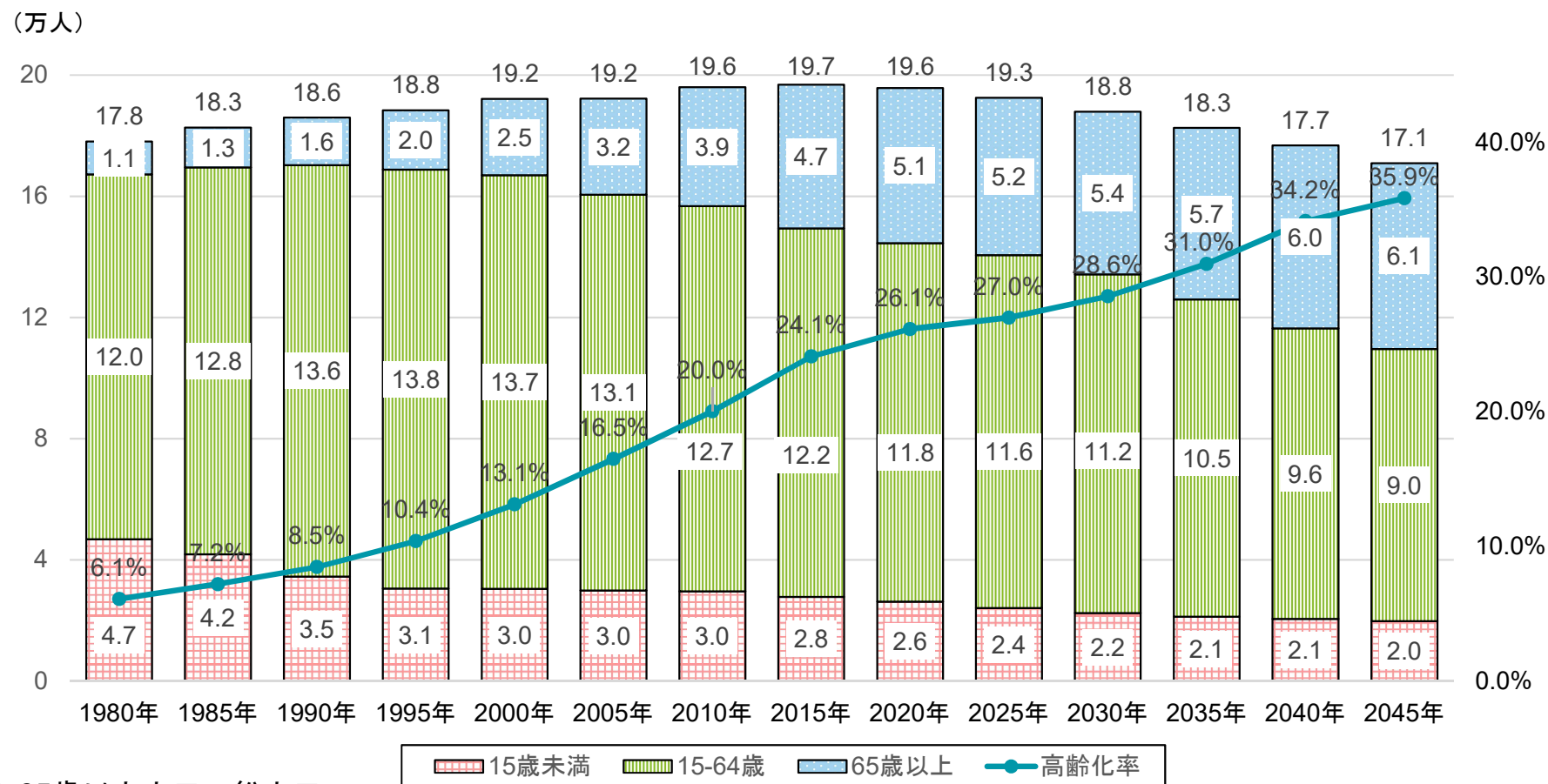


出所:厚生労働省「平成29年患者調査」図表5より抜粋

阪神間の医療機能強化に向けた取り組みの方向性

伊丹市においても全国と同様な人口構成の変化が見込まれています

伊丹市の人口推計



高齢化率: 65歳以上人口 ÷ 総人口



伊丹市においても「少子化」と「高齢化」が同時に進むことから医療・介護需要と供給体制のバランスが課題となります

出所: 2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を除く)、

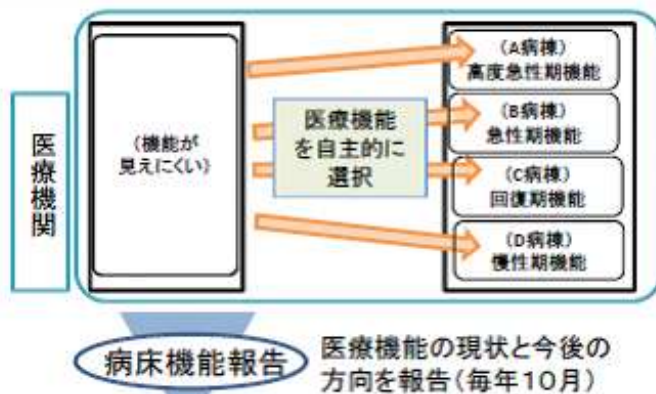
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」の伊丹市人口推移を参考に作成

地域医療構想では、各地域ごとの将来の医療需要を見据え、その地域における医療提供体制のあるべき姿と課題を示しています

地域医療構想について

地域医療構想について

- 「医療介護総合確保推進法」により、平成27年4月より、都道府県が「地域医療構想」を策定。平成28年度中に全都道府県で策定済み。
※ 「地域医療構想」は、二次医療圏単位での策定が原則。
- 「地域医療構想」は、2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、定めるもの。
- 都道府県が「地域医療構想」の策定を開始するに当たり、厚生労働省で推計方法を含む「ガイドライン」を作成。平成27年3月に発出。



（「地域医療構想」の内容）

1. 2025年の医療需要と病床の必要量
・高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4機能ごとに医療需要と病床の必要量を推計
・在宅医療等の医療需要を推計
・都道府県内の構想区域（二次医療圏が基本）単位で推計
2. 目指すべき医療提供体制を実現するための施策
例）医療機能の分化・連携を進めるための施設設備、在宅医療等の充実、医療従事者の確保・養成等



- 機能分化・連携については、「地域医療構想調整会議」で議論・調整。

都道府県

医療機能の報告等を活用し、「地域医療構想」を策定し、更なる機能分化を推進



地域医療構想の概要

医療需要の変化に対して地域単位で最適な医療を提供する体制を整備するための施策

- ・ 医療機能の分化・連携
- ・ 在宅医療等の充実
- ・ 医療従事者の確保・育成等

伊丹市を含む阪神北圏域では、高度急性期機能の強化と医療機能分化の推進が求められています

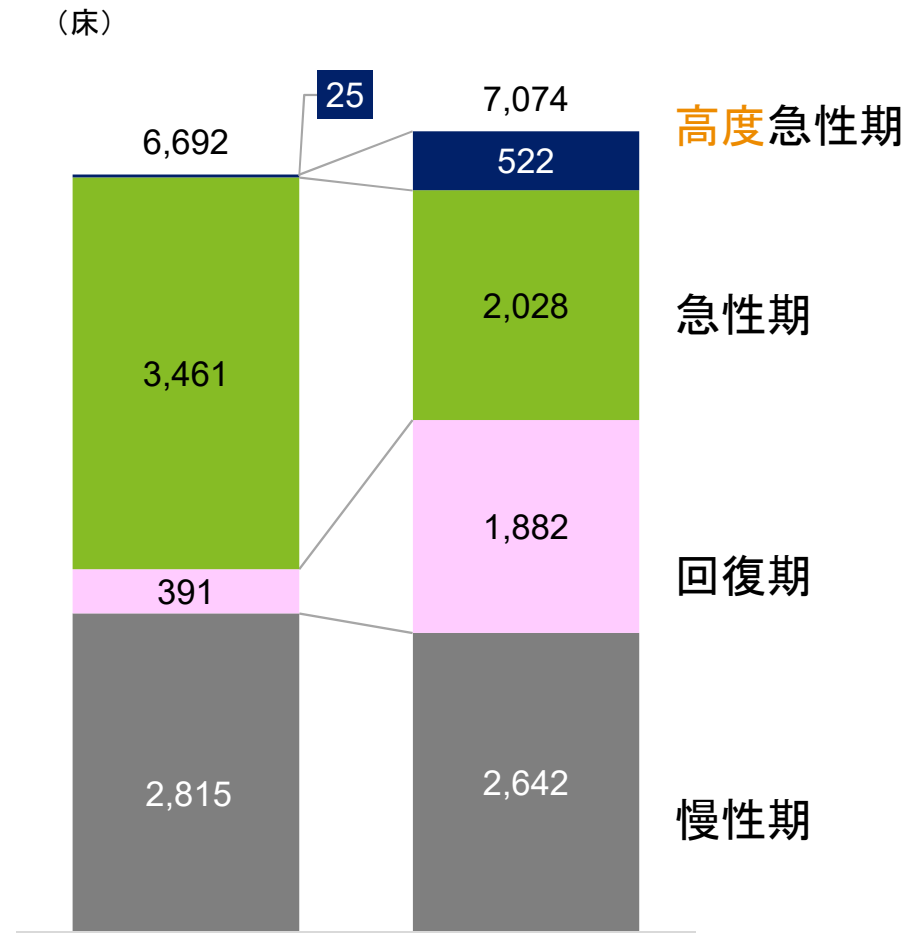
高度急性期機能は阪神南圏域に集中



* 主に伊丹市近隣の公立病院及び200床以上の病院を抽出

出所：地図は総務省「JSTATMAP」を用いて作成、グラフは「兵庫県地域医療構想」28ページを参考に作成

阪神北圏域の地域医療構想における必要病床数



2014年 2040年
(注)2014年は実際の病床数、2040年は今後必要と想定される病床数
都道府県間、圏域間の患者流動を反映した数値

公立・公的病院等には、高度急性期機能や不採算医療の確保等が期待されています

公立病院の役割

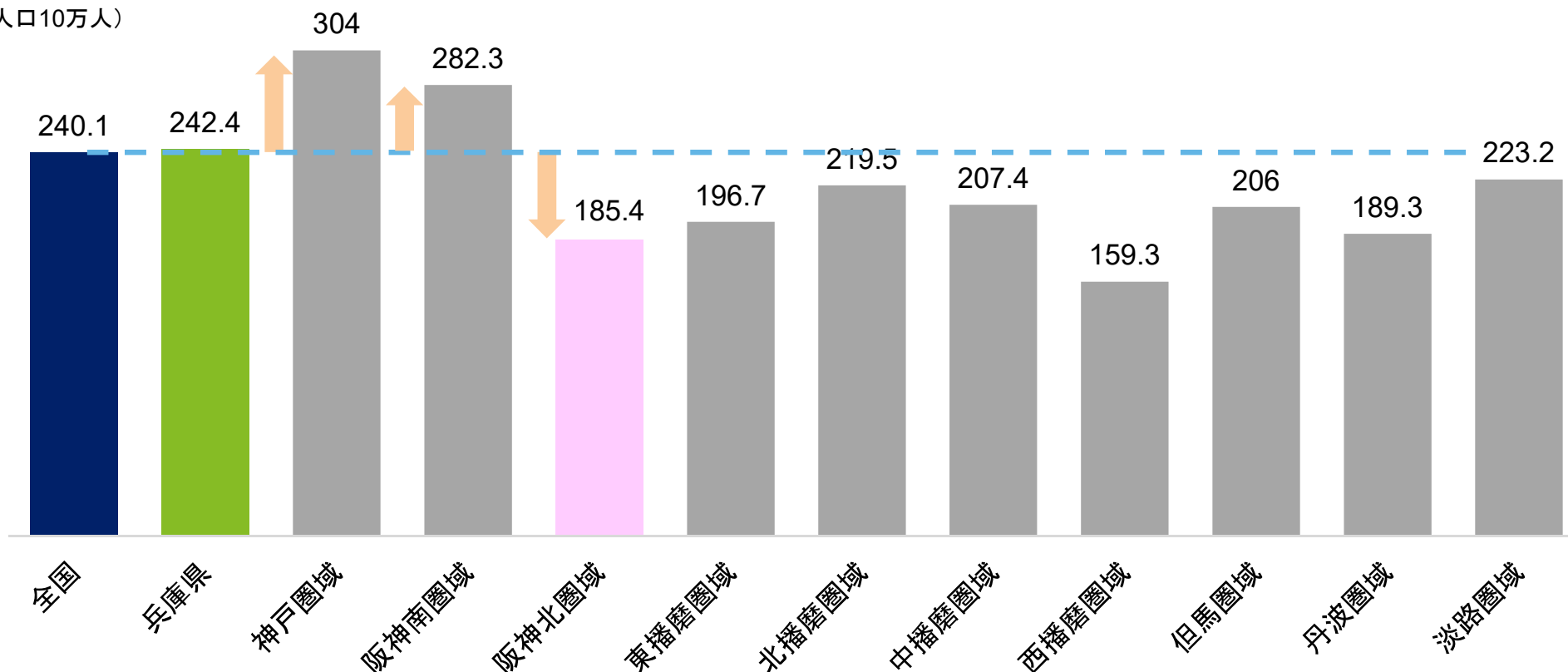
 公立病院では他の民間医療機関等では担えない医療を提供することが求められます

- 高度急性期・急性期機能 や不採算部門、過疎地等の医療提供等
- 山間 へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供
- 救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
- 県立がんセンター、県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
- 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

阪神北医療圏は、全国や兵庫県全体、隣接する神戸・阪神南圏域と比べ、人口10万人当たりの医師数は少ない状況がみられます

圏域別人口10万人当たりの医師数

(人/人口10万人)



阪神北圏域と他圏域の医師数の差

全国：△54.7人、兵庫県：△57人、神戸圏域：△118.6人、阪神南圏域：△96.9人

出所：兵庫県ホームページ「医師確保対策の推進」を参考に作成

2024年には「働き方改革」として医師の労働時間上限が設けられるため、医療機能の維持には更なる医師の確保が求められます

時間外労働時間上限(2024年より適用)

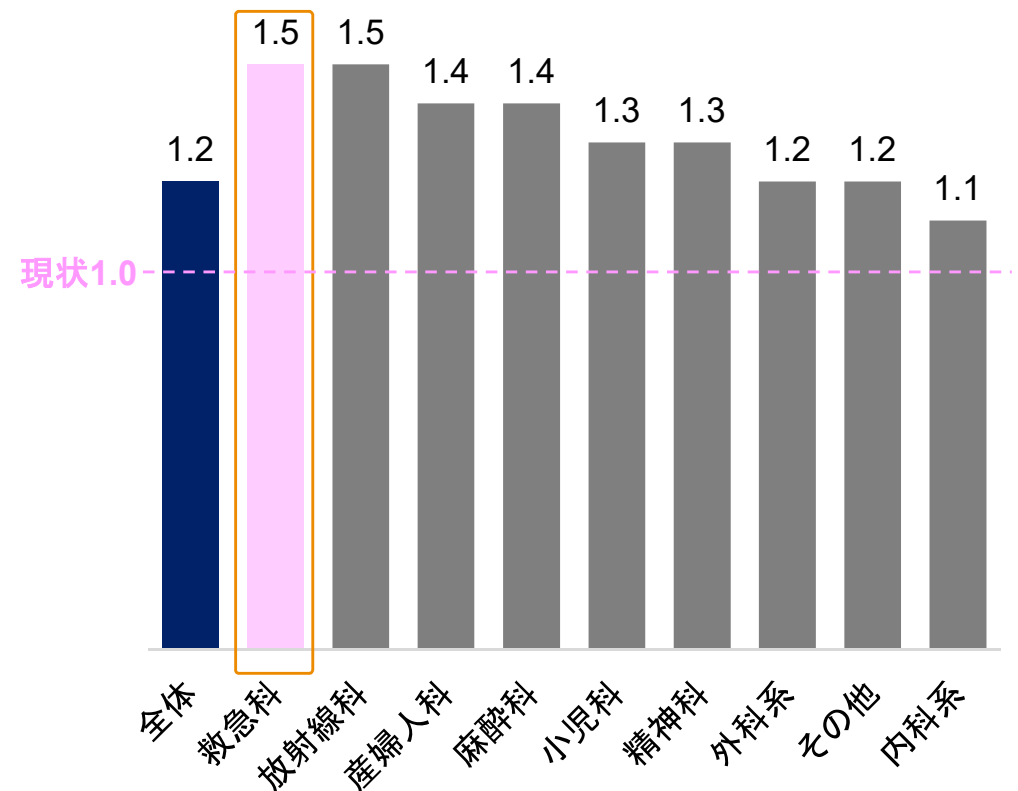
対象医師	時間外労働時間上限
診療従事勤務医	年間960時間以内
	月100時間未満(例外あり)



平成28年の厚生労働省調査では、調査対象の約4割の医師が年間時間外労働時間が960時間を超えている

時間外労働時間上限規制が適用された際の必要医師数

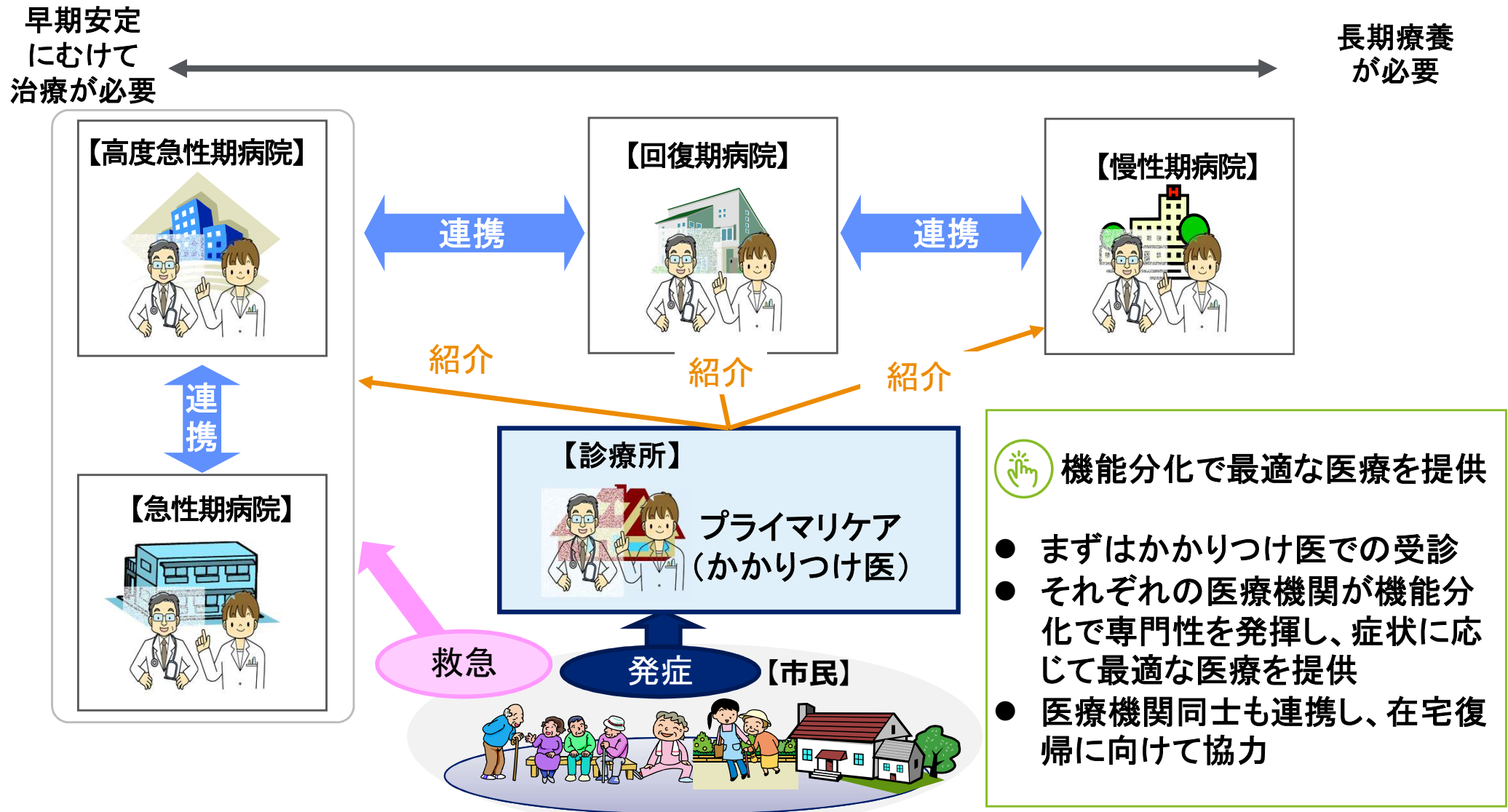
(倍)



救急では現状の1.5倍の医師の増員が求められます

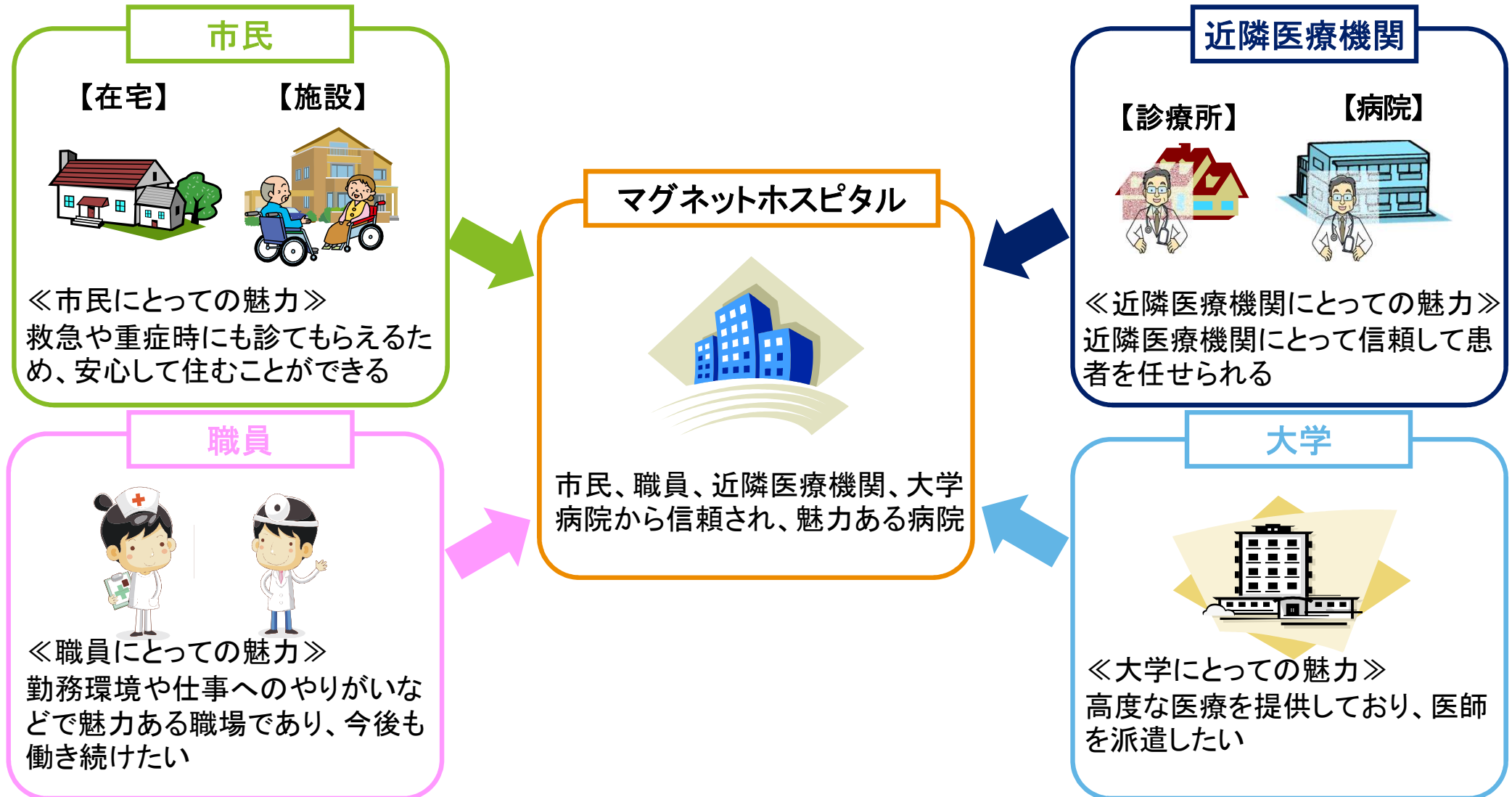
それぞれが本来の役割を果たさなければ、最適な医療を提供することが難しくなります

機能分化・強化による主な医療提供イメージ



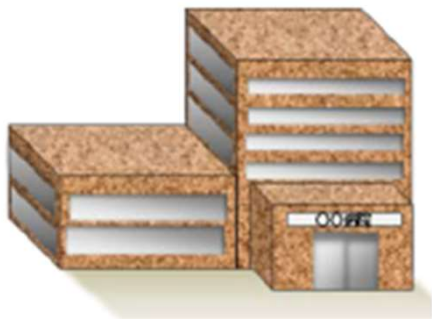
機能分化・強化や医師確保に向け、大学・近隣医療機関等の関係者にとって魅力のある医療機関となることが求められます

マグネットホスピタルのイメージ



医療提供体制確保の課題に対して、統合・再編による医療資源の集約化と機能の強化により対応している事例があります

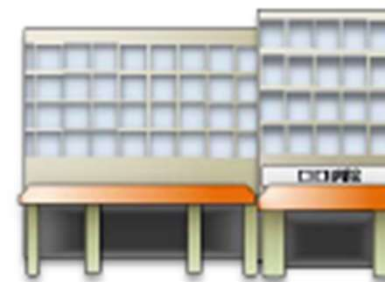
再編・統合による効果の事例



三木市民病院
(許可病床数: 323床)



小野市民病院
(許可病床数 220床)



北播磨総合医療センター
450床(2病院合計との差: △93床)

再編・統合による効果

■ 統合による医療機能の強化

- 医師数は60名⇒80名に増加
- 21診療科⇒33診療科
 - ・ 休止・縮小していた分娩や小児救急を開始・拡充

必要とされる医療機能を確保



統合後も医療設備・指導医の充実による教育体制を充実させ、医師・看護師の確保を実現

医師の負担を減らす取り組みとして、市民に対して、地域の医療を守るための上手な医療のかかり方が求められています

市民レベルでの取り組み

第6回 上手な医療のかかり方を広めるための懇談会 平成30年12月17日	資料2
---	-----

「いのちをまもり、医療をまもる」 国民プロジェクト宣言！

私たち「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」構成員は、
病院・診療所にかかるすべての国民と、
国民の健康を守るために日夜力を尽くす医師・医療従事者のために、
「『いのちをまもり、医療をまもる』ための5つの方策」の実施を提案し、
これは国民すべてが関わるべきプロジェクトであることを、ここに宣言します。

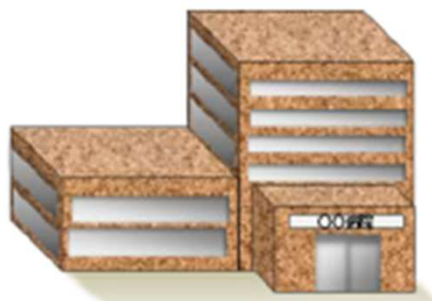


市民のアクション例

- 患者の様子が普段と違う場合は「信頼できる医療サイト」を活用し、まずは状態を把握する
- 夜間・休日に受診を迷ったら#8000や#7119の電話相談を利用する
- 夜間・休日よりも、できるだけ日中に受診する
 - ・ 日中であれば院内の患者・家族支援窓口（相談窓口）も活用できる
 - ・ 夜間・休日診療は自己負担が高い、診療時間が短い、処方が短期間など、受ける側にもデメリットがある
- 抗生物質をもらうための受診は控える
 - ・ 抗生物質はかぜには効かない
- 上手にチーム医療のサポートを受ける
 - ・ 日ごろの体調管理は看護師に、薬のことは薬剤師に聞くなど、医師ばかりを頼らない

市民による地域医療を守る取り組みが実施された事例もあります

再編・統合による効果の事例

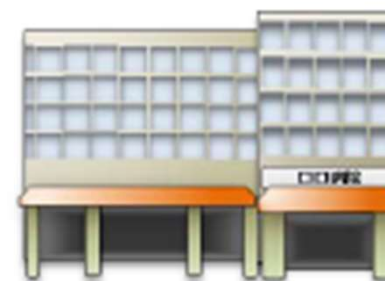


県立柏原病院
(許可病床数: 303床)



柏原赤十字病院
(許可病床数: 167床)

出所: 県立丹波医療センターホームページ、「丹波市域の今後の医療提供体制の在り方に関する検討会報告書」、「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」を参考に作成



県立丹波医療センター
(丹波市健康センターミルネを併設)
320床(2病院合計との差: $\Delta 150$ 床)

再編・統合による効果

■ 統合後は医療機能の強化

- 診療科の充実(7診療科増加)
- 救急医療提供体制の充実
- 先進医療機器等の導入し、高度専門医療に対応



市民による地域の医療を守る取り組み実施
医師不足で小児救急医療機能が低下し、市民が「県立柏原病院の小児科を守る会」を発足
コンビニ受診の自粛などに取り組む

市立伊丹病院の取り組み事例



問題点

■ 整形外科外来で初診患者の多く、医師の負担増加

- 骨折等の重症患者に必要な医療を提供できない状態となる

- ① 「紹介状」「診察予約票」持参患者のみを受付
- 「かかりつけ医」との連携などによって、重症患者に対して優先的に高度な医療提供を実現

伊丹市の取り組み事例

※本サービスはディーベック株式会社に業務委託し運営しています。

伊丹市民の方のみ ご利用いただけます。 **いたみ健康・医療相談ダイヤル24** **通話料 相談料無料**

看護師・保健師・医師などが24時間・年中無休体制で
ご相談に応じ、わかりやすくアドバイスいたします。

な や み きゅう きゅう ぜろ
0120-783-990

※携帯電話からも使用可能です。 ※非通知設定の電話からダイヤルする場合は、はじめに186をつけてください。

電話がつながりましたら、お名前（匿名可）・ご住所・年齢を教えてください。
プライバシーは厳守されるシステムになっていますので安心ください。
ご相談内容により返答が翌日になることやご希望に添えない場合があります。



医療機関情報のご提供 夜間・休日の医療機関のご案内

- 急病の際に受診可能な医療機関 など
- 応急処置 など
- 病気やケガの症状によってどんな医療機関を選ばいいか



出産・育児相談

出産についての相談

- 妊娠中の各種相談（食事・生活・運動ほか）

育児についての相談

- 誤飲や転倒した時などの応急処置について
- 月齢に合わせた授乳、離乳食、おやつの与え方、回数 など
- トイレトレーニングの時期や方法、おねしょについて



医療相談

治療に関する相談

- 病気の詳しい説明や治療方法、必要な検査について など
- 検査データ、薬の説明 など



健康相談

気になる身体の症状についての相談

- 何科を受診すべきか



介護相談

- 介護方法について（床ずれ予防・排泄・食事・体位転換・更衣交換・更衣調整 など）



メンタルヘルスの相談

- 対人関係の悩み
- 職場や子育てに関するストレス
- 気分障害・不安障害・摂食障害・不眠 など



「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」では、このようなご相談に応じています。
お気軽にご相談ください。



itami
伊丹市

伊丹市立
保健センター
Tel. 072-784-8034

